



医療法人 清潮会 三和中央病院 広報誌

2025年夏発行

No.35

POCO a POCO

ポコ・ア・ポコ

基本理念

安心できる、心暖まる医療

1. 私たちは誠実で親切な心をもって医療に従事します
2. 私たちは人権を尊重した良質な医療を提供します
3. 私たちは地域精神医療と地域ケアを実践していきます

POCO a POCO(ポコ・ア・ポコ)とは……

ポコ・ア・ポコとは少しずつという意味があり、何事も少しずつ、徐々に良くなっていけばなどの思いを込めてみました。

発行人：塚崎 稔

発行所：長崎県長崎市布巻町 165-1

TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588

<http://www.sanwa.or.jp>



初代理事長 塚崎謙輔先生像

見えない自分が、誰かとつながる

—コンピュータ・グラフィクス・アバター(CGアバター)※を通じた新しい挑戦

この春、三和中央病院の精神科デイケアでは、長崎大学医学部精神神経科、熊崎博一教授との共同研究として、ちょっとユニークな取り組みが始まりました。それは、患者様がパソコンの前に座り、自分の「代わり」として活躍するCGアバターを操作し、大阪・関西万博の「いのちの未来館」にいる来場者と会話するという試みです。

患者様の姿や本当の声は、来場者には一切見えません。見えるのは、現地のモニターに映し出された可愛らしい女性のCGアバター。そしてその声も、機械で変換された優しい女性の声に置き換わっています。つまり、患者様は「自分を晒すことなく」誰かと会話できるのです。たとえば、来場者に挨拶をしたり、手を振ったり、「会場内の移動はこちらが便利です」と案内したり。直接人前に立つわけではないけれど、それでもしっかり社会と関わる経験ができます。

統合失調症などの病気を抱える方の中には、「本当は人と話したいけれど、怖くてできない」と感じている方が少なくありません。「断られたらどうしよう」「変に思われたら恥ずかしい」——そんな不安が、気持ちにブレーキをかけてしまうのです。

今回のような“遠隔でのアバター会話”は、そうした不安を和らげる安全な橋渡しとなります。失敗しても相手に顔を見られることはなく、安心して話す練習ができます。そして、「話せた!」「喜んでもらえた!」という体験は、次の一歩を踏み出す大きな力になります。実際に参加してくださった方からは「もっと会話をしてみたい」「案内できることがうれしい」と好評をいただいています。今後も継続していくつもりですので、興味のある方はお声がけください。見学は大歓迎です。

未来の技術を活かしたこの取り組みは、今後も新しい形のリハビリテーションとして発展していく予定です。誰もが社会とつながる喜びを感じられるように——私たちもその一助となるよう、挑戦を続けていきます。

※アバター avatar: インターネット上で、顔・髪形・服装・持ち物などを自由に選択してつくったオリジナルのキャラクター。自分の分身として、ネットワーク・ゲームやチャット・ルーム、掲示板などで利用する。



現地のモニター



操作ボタン



実際の様子

～mECT(修正型電気けいれん療法)～

病棟看護師 山口 亮介

当院では、2022年12月からmECT(修正型電気けいれん療法)を治療開始し、2024年12月までに39名(メンテナンスECTも含む)の方が治療を受け、退院となった方、症状が安定し減薬できた方、次の治療へのステップアップできた方など、約89%の方に治療効果がありました。

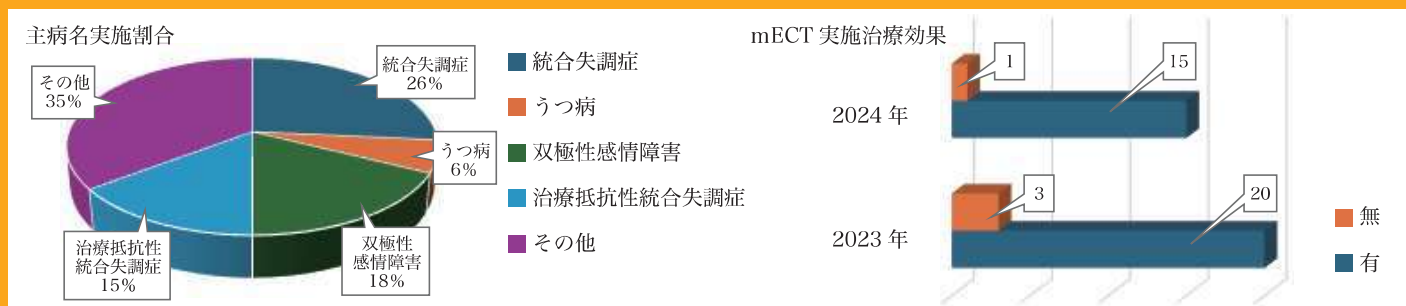
適応となる診断

- ・うつ病(切迫した自殺企図など)
- ・統合失調症(妄想・緊張型)
- ・気分障害、躁病、強迫症状

適応となる実例

- ・幻覚妄想に左右された言動による治療継続困難を改善目的
- ・被害妄想、暴力行為の改善目的
- ・薬剤調整(減量)目的
- ・メンテナンスECT(過去の反応が良好)
- ・継続した希死念慮の改善目的 など

中断、中止された方は、「期待した病状の改善が無かった」「思っていたより効いていない感じがする」などの主観的なものでありましたが、医療者からは改善の兆候や、治療効果を実感できることも多数あり、効果が全く無いという印象はありませんでした。



治療を開始して2年が過ぎ、年間平均約170回(ECT実施数)のECTを行うことができました。闘病に苦しむ患者様や、ご家族の為に、精神科医、麻酔科医、看護師を中心としたチームでより安全性の高い治療を受けられるように努力していききたいと思います。

～「第47回日本内観学会 町田大会」が開催されました!!～

病棟看護師 尾上 了三

この度、5/31～6/1にかけ東京都町田市にある『町田市文化交流センター』にて第47回日本内観学会町田大会が催されました。大会には100名を超える参加者と、その後の研修会には60名が参加され、大盛況のうちに幕を閉じました。

当院からは、塚崎院長、リハ部谷口部長、病棟看護師尾上が参加をさせて頂きました。

また昨年11月、当院の内観面接者への指導として1週間当院にて出張内観を行って頂いた、瞑想の森内観研修所の清水康弘先生も参加され、貴重な講演を聞かせて頂きました。その講演では実際に集中内観を行った著名なアスリートを数名紹介され、その中には12年前の長崎大会で講演して頂いた現ソフトバンクホークス一軍監督を務める小久保裕紀さんの体験談などもあり、とても興味深く拝聴させて頂きました。また海外からの参加者も多くみられ、懇親会では中国から参加の鄒鳳卿(チェ・フンチェン)先生による楽器演奏が披露されました。

二日間に渡り、多くの先生方の貴重な話に触れ内観に対する知見が更に深まりました。

※次回は2026年6/6～6/7、京都開催予定



職員の趣味・特技にPINT 第10回

職員のペット紹介



外来看護室 上野陽子

3匹兄妹 今年で10歳です。
右から(シルバー)レラ
(6キロ)、クマ(8キロ)、
ジン(7キロ)です。
クマは一年前 10キロあり
ダイエットフードのみで
現在8キロになりました。



デイケア 長沼晃司



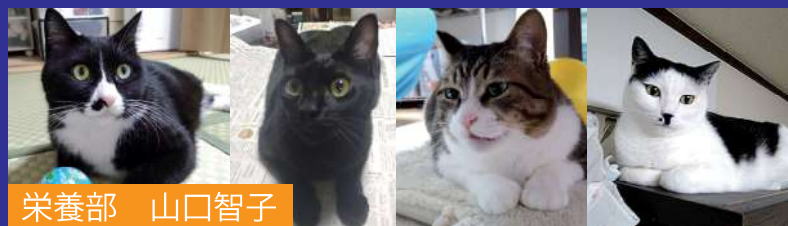
医療社会福祉部 詰坂郁佳



看護部長 尾上英次郎



北3病棟 中村あずさ



栄養部 山口智子

映画「長崎-閃光の影で-」のお知らせ

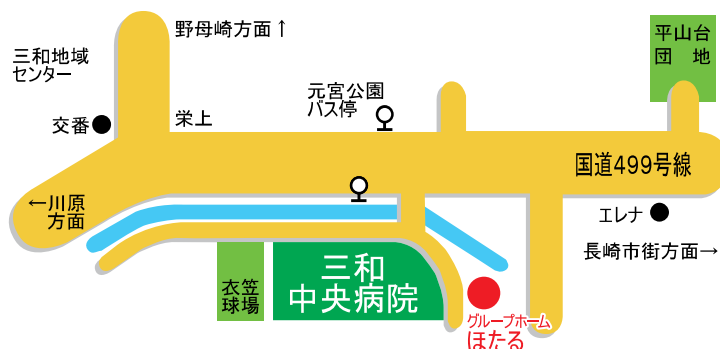
当院の訪問看護師、松本佳奈さんのお兄さんである松本准平監督
作品「長崎-閃光の影で-」が7月25日に長崎先行公開、8月1日全国
公開されます。

原爆投下直後の長崎で被爆者の救護にあたった若い看護学生3人の
物語を描いています。映画の主題歌は、福山雅治さんがプロデュース
担当。被爆80年となる今年夏、ぜひご覧ください。



○三和中央病院ホームページでは、新着情報・学会報告・今後の予定などリアルタイムで更新しています。

詳しくはこちらまで→ <http://sanwa.or.jp>



医療法人 清潮会 三和中央病院
診療科目: 精神科・心療内科・内科・歯科
〒851-0494 長崎県長崎市布巻町 165-1
TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588
E-mail: info@sanwa.or.jp

医療法人 清潮会 あんしん
訪問看護ステーション
〒851-0494 長崎県長崎市
布巻町 165-1
TEL 095-893-8633
FAX 095-893-8677

グループホームほたる 長崎県長崎市布巻町 624-1
TEL・FAX 095-895-5550

医療法人 清潮会 さんクリニック
診療科目: 心療内科・精神科
〒850-0842 長崎県長崎市新地町 8-16 ミナトパークビル 4 階
TEL 095-895-8160・FAX 095-895-8161 <http://www.sanwa.or.jp/sanclinic/index.html>